



》ごみ収集車で火災発生！その原因は!?

市内でごみ収集車の火災が起き、消防車が出動する事態が発生しました。原因は、危険ごみが正しく分別されずに他のごみ収集日に出されたことです。

誤ったごみの出し方により、車両火災や処理施設の爆発など作業員や周囲にいる人の命に関わる重大な事故が起こります。このような事故は、一人一人がごみの分別ルールを守ることによって防ぐことができます。危険ごみの適切な分別にご協力ください。

ごみの分別方法や処理方法は、市ホームページやごみ分別アプリ「さんあ〜る」でも確認できます。



さんあ〜る



火災が発生したごみ収集車

危険ごみとは？

危険ごみとは、乾電池・充電式電池、スプレー缶・卓上カセットボンベ、蛍光灯、使い捨てライター、水銀式体温計のことです。これらは、電気をためている製品やガスを含んでいる製品、有害な物質を含んでいる製品などであり、適切に処理をしないと火災や爆発、環境汚染につながる可能性

があります。

スプレー缶は穴をあけても危険ごみに変わりありません。また、ハンディファンなど電池の取り外しが困難な製品も危険ごみとなります。



モバイルバッテリーから火災が発生することもある！

危険ごみの安全な出し方

充電式電池

右の写真のように、端子部分をビニールテープなどで覆った状態で、透明または半透明の袋に入れてください。



リチウムイオン電池

スプレー缶・卓上カセットボンベ、使い捨てライター

できる限り中身を使い切ってから透明または半透明の袋に入れてください。



蛍光灯や水銀式体温計

割れないようにして透明または半透明の袋に入れてください。

危険ごみは、品目別に透明または半透明の袋に入れて出してください。危険な事故を防ぐために、分別ルールを守りましょう！



》地域の会合などに「エコな生活講座」が出向きます！

地球温暖化をはじめとする環境問題や、地域脱炭素(温室効果ガスの排出を実質的にゼロにすること)について、市民の皆さんに広く知っていただき、日々の暮らしの中で脱炭素につながる行動に取り組んでいただくことを目指して、市職員が地域の自治会や老人会、婦人会などが開催する会合で出前講座を実施します。

講座内容や申し込み方法など詳しくは、環境政策課(☎229-3212)までお問い合わせください。

講座内容の例

- 地球温暖化の原因・影響
- 暮らしの中でできる省エネ
- 脱炭素のカードゲーム

